

第40回公演「久美・美容室物語」 団長の独り言

「みなさまの支えがあればこそ」

(小山 恵子)

「団長の独り言」を、愛読のみなさま、
こんにちは。小山恵子です。

第40回「久美・美容室物語」は、お蔭さ
まで今回も大成功を収めることができ
ました。

お寒期中、劇場に足を運んでくださり、
誠にありがとうございます。

今回の舞台は新作だったので、どんな脚
本が出来上がるのか早い時期からとても
楽しみにしていました。

といっても団長がお客様に喜んでいただ
けるのか、キャスティングはどうするか
等々、苦しみながら考えて脚本の執筆
をされているかと思うと、楽しみにして
いるの一言で言い表すのはどうかと思い、
ここは脚本家でもある団長にお任せして、
願う気持ちで応援していました。

出来上がった脚本をいただく時は、重み
を感じると共に「お疲れさまでした。
ありがとうございます。頑張ります！」
の気持ちで受け取ります。

さて「久美・美容室物語」の脚本を初め
て読んだとき、すっかり脚本の世界に魅

了されました。

またその世界の居心地がとても良かった
のか早く読み進めたいけど、読み終わり
たくない、ずっと雰囲気味わっていたい
というなんとも不思議な感覚でした。

もうその時からすでに久美先生の包み
込むような優しさに癒されていたのかも
しれません。

また登場人物が、それぞれ悩みながら
も真面目に頑張っている姿には共感が持
てましたし、あるシーンでは静寂に包ま
れた中で声が聞こえたような感覚にな
り、胸が熱くなって涙しました。

やはりふぁんハウスが24年間、40回も
公演をやってこられたのは団長の脚本の
良さに助けられているからだと改めて実
感しました。

本番では、「脚本が面白いから大丈夫」
と言いついて聞かせて、演じようとして丁
寧にはつきりとテンポよく会話する事に
集中して舞台上に立ちました。

今回の公演も私の中で反省はいくつかあ
りますが、アンケート結果を見ると、お
客様に喜んでいただけたようなので安心
しました！同時に次回の板橋公演では
反省を活かしてもっといい舞台にしよう
と思います。

久美・美容室のセットは、昭和感たっぷり
なポスターや小物類が沢山ありました。
お客様も「あのセットが昭和の雰囲気を
醸し出していてとてもよかったですわ。」と
懐かしいと言って喜んでくれていました。

美容師が使う小物類の一部は、家族で
通っている近所の美容室からお借りしま
した。

私も役に合うように髪をアップにしたり、
編み込んでもらったりしてお世話になっ
ています。

行く度に「何か必要なものがあたら何
でも言ってくださいいなね。」と温かい言葉を
かけてくださいました。

ある時、主人が大量の湿布を手に美容
室から帰ってきました。

話を聞くと首や肩が痛いと言ったら患部
に湿布を貼ってくれて、病院で沢山もら
ったからと湿布までくれたとのこと。

その話を聞いた私は「リアル久美美容室
だあ！」と思わず言っていました。

その美容室はお母様がやっていたのをリ
ニューアルして娘さんが次いで、お母様と
一緒に営業しています。

奥に自宅があるので夕方になると夕飯
を作っている美味しそうな香りが漂って
きます(笑)。

久美美容室もきつとこんな感じかなと、
温かな気持ちになったのを思いました。

このように周りの方々の支えがあったか
らこそ、舞台「久美・美容室物語」は、
大成功を収めることが出来ました。

感染力の強い変異株オミクロンが蔓延す
る中、お客様が劇場に足を運んでくだ
さるのか、公演関係者で感染者が出るこ
となく無事公演が出来るのか？たくさ
んの不安を抱えながらの舞台でしたが、

「元気になった！」

「観に来て良かった！」

とのお言葉をお客様から沢山いただいて、
今の時期だからこそ公演をやって良かっ
たと思えました。

これからも劇団活動を続けて行くうえ
で、色々な困難が待ち受けているかもし
れませんが、強い信念を持ち続け、感謝
の気持ちを忘れず、走り続けて行きた
いと思います。

今後とも劇団ふぁんハウスをよろしくお
願います。